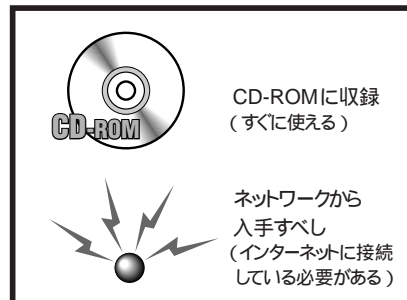


今月のおすすめソフト

今月のおすすめは、表組みなどの最新機能をサポートしたHTMLエディター「ハイパーエディット」、ベクトルフォーマットの画像データをネットスケープに表示する「コーレル CMXビューアー」、ウィンドウズ95のダイアラーに対応した料金管理ソフト「ダイアルアップ・ウォッチャー」、テキストの中のURLをクリックするだけでそのホームページを表示することができるマッキントッシュ用ソフト「インターネット・コンフィグ」だ。



表やフレームなど最新のタグにも対応しているHTML作成支援ツール

Hyper Edit [ハイパーエディット]

HTML作成ツール
(ウィンドウズ)



最近ではHTMLもさまざまな拡張が行われ、表現力が豊かになった半面、覚えることも多くなり、機能によってはかなり複雑なプログラミングも必要になってきた。HTML作成ツールは多いが、今回はフレームや表など最新のHTMLタグにも対応し、精力的なバージョンアップを続けている「ハイパーエディット (HyperEdit)」を紹介しよう。

機能的には、ブラウザで見る画面と同じ画面を、そのまま編集するというタイプのものではない。エディター上に指定したタグを、そのまま埋め込んでいくタイプのものである。したがって、できあがったホームページを見るためには、編集したHTML文書をWWWブラウザで読み込む必要がある。しかし、このソフトはなるべくタグの挿入やタグにつけるパラメーターをGUIベースで手軽に入力できるように工夫されており、ダイアログボックスで簡単に指定できるようになっている。

たとえば、表(テーブル)を例にしよう。メニューから「HTML(H)」-「テーブル(S)」-「テーブルWizard(W)」を選ぶと、行数と列数を入力するダイアログボックスが出るので任意の数値を入力する。すると、まるで表計算ソフトのように指定したとおりの表が現れ、あとはデータを投入して「OK」ボタンを押せば、適切なタグが付加されて内蔵のテキストエディターに挿入される。ほかにも、背景や

文字の色指定などが簡単にできるように工夫されている。

操作の基本は、内蔵のテキストエディターにテキストを記述して、マウスで範囲指定してタグを埋め込んでいく。ファイルの読み込みや、クリップボードを介してのカット&ペーストも可能だ。WWWブラウザの起動はボタン一発で起動できるので、随時セーブしてブラウザでチェックできる。タグの選択はメニューバーから行えるほか、スマートアイコンが使い、マウスの右クリックでいつでもタグ選択のメニューがポップアップする。フレーム機能、表、背景色、背景イメージフォントの指定と色指定、水平線、フォーム入力全般など、タグのサポートは多彩だ。水平線については太さの指定が可能と、細かい点が配慮されている。また、タグだけを除去する機能があるので、ダウンロードしたHTMLをテキストとして保存できる。

ブラウザで見る画面をそのまま編集できるタイプのものではないので、HTMLの基本的な構造やタグを理解しておくことは必要だが、「いちいち細かいタグのつづりを覚えていられない」「表やフレームなど手間のかかるタグを効率よく使ってみよう」と思っている人には良い支援ツールになるだろう。ハイパーエディットはウィンドウズ3.1で使用する16ビット版とウィンドウズ95やNTで使用するための32ビット版が用意されている。(石橋文健)



図1 実行中の画面



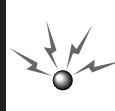
図2 テーブルウィザードの画面

Hyper Edit

バージョン : 2.12
 種別 : シェアウェア (3,000円)
 作者 : 古原伸介
 (PXC03761@niftyserve.or.jp)
 入手先 : ニフティサーブFGALWIN
 DL 6, #69 (32ビット)
 DL 14, #154 (16ビット)
<http://www.bekkoame.or.jp/skohara/heditstw.htm>
 関連情報 : <http://www.bekkoame.or.jp/skohara/heditstw.htm>
 ニフティサーブ FGALWIN14 番会議室

ベクトルフォーマットのCMX形式データをネットスケープナビゲーターでインライン表示

Corel's CMX Viewer [コーレル・CMX ビューアー] ネットスケーププラグイン (ウインドウズ)



このところ、ネットスケープナビゲーターのプラグインツールの登場が相次いでいる。VRMLをブラウズする「ウェブFX」や「ディレクター」のデータをブラウズする「ショックウェーブ」、リアルタイム動画の「VDOライブ」など、着々とプラグインツールが増えてネットスケープのアドバンテージは増すばかりだ。マイクロソフトのインターネットエクスプローラーもあるが、プラグインについてはまだ現時点で同社が作成したバーチャルエクスプローラーだけである。

さて、大物のプラグインツールは他のページも取り上げているので、今回は12月にリリースされたコーレル社「コーレル・CMX ビューアー (Corel's CMX Viewer)」を紹介しよう。

コーレル社といえば、「コーレル・ドロー!」などグラフィックやイメージ処理のソフトなどで非常に有名なソフトウェア会社だ。同社のソフトウェアで利用される画像データ形式「CMX」は仕様を公開しており、多くのソフトで利用可能になっているので使ってみた人も多いと思う。

グラフィックデータがベクトルフォーマットであることの利点の1つとして、拡大や変形が自由自在であることが挙げられる。演算によって再描画するので拡大や変形をしても自然な曲線に見える。コーレル・CMX ビューアーはネットスケープナビゲーターにこのベクトルフォーマットである「CMX」の画像データをインライン表示するプラグインツールである。ホームページのデータにCMXファイルが埋め込まれていれば、そのままホームページの構成データの1つとして表示してくれるので便利だ。ネットスケープのプラグインとして見ているときは拡大や変形はできないが、画像を右クリックして「PopUp」メニューを選ぶと、専用のビューアーが立ち上がってポップアップ表示ができる。ポップアップ表示すると拡大や変形は思うままだ。たとえば企業のロゴなどをホームページに

載せる場合、同一のページでさまざまなサイズのロゴを複数使うときがある。そのようなホームページを作成する場合、GIFなどの画像ではそれぞれのサイズで画質を確保するために、サイズごとにデータファイルを用意しなければならないが、CMXデータならば1つでOKだ。ファイルサイズについても、「CMXのほうがGIFよりも少なく済む」とコーレル社はアナウンスしている。また、CMXはもともと余分な空白部分は透明の扱いであるため、透明GIFを作

成するような余分なプロセスの必要がない。実際に、CMXのホームページでは同じデザインの画像について、GIF形式とCMX形式の2つの画像をならべて、画質の差をアピールしている。これまでホームページに使われてきたGIFなどの画像ファイルとは、それぞれの特徴を生かして使い分けたい。なお、このCMXビューアーはウインドウズ95およびNTのみ動作保証している。ほかのOSへの対応にも期待したい。

(石橋文健)



図1 CMXデータをインライン表示したところ。



図2 CMXデータをポップアップ表示したところ。



図3 ポップアップ表示した画像を変形させたところ。

Corel CMX Viewer

バージョン : 1.0 (ベータ版)
種 別 : フリーソフト (ベータ版)
作 者 : コーレル社
入手先 : <http://www.corel.com/corel-cmx/Corelcmx.exe>
関連情報 : <http://www.corel.com/corel-cmx/>
<http://www.corel.com/corelcmx/real-cmx.htm>

ダイヤルアップ接続を監視して履歴や料金を自動で記録

Dialup Watcher [ダイヤルアップ・ウォッチャー]

ダイヤルアップ
ユーティリティ
(Windows)

ダイヤルアップ接続している人は、この国の通信料金の高さを実感しているはず。電話料金は刻々と課金され、さらにプロバイダーによっては接続料を従量制で課金されてしまう。そんな状況では「いったいどれだけ接続しているのか」「いくら費用がかかっているのか」ということを、電話料金を含めて常に自分でしっかりと管理しておきたいものだ。

現在、パソコン通信の通信ソフトに対応したもものとして通信料金の管理ソフトがかなり出回っているが、インターネットのダイヤルアップユーザー向けにも同様のソフトが登場している。

「ダイヤルアップ・ウォッチャー (Dialup Watcher)」は、ダイヤルアップ接続ソフトの動作を監視するソフトだ。プロバイダーとの接続や切断を自動的に認識して、そのログを記録して設定された料金表に合わせて料金を計算する便利なソフトである。メールなどのインターネットアプリケーションを起動させることができるランチャーの機能も搭載されている(ただし正式ユーザー版を手に入れないと動作しないので試用はできない)。

対応している接続ソフトはネットマネージ社の「インターネット・カメレオン」、トランス・コスモス社の「インターネット・オフィス」、クニリサーチ社の「エア・シリーズ」のほか、うれしいことにWindows95の標準ダイヤルアップに対応している。これらのソフトでない場合は、手動で接続や切断を知らせることによって記録できる。Windows95とインターネット・カメレオンの場合は電話番号やプロバイダー別にログを取ることができる。16ビット版と32ビット版が用意されているが、Windows95の場合はどちらでも動作する。

電話料金は細かく設定でき、夜間定額制の「テレホーダイ」や時間帯限定の割引制度などに対応している。また、プロバイダーの料金も

基本料金や従量料金などが細かく設定できるようになっている。

ログ表示は接続の履歴をメニューから選べば自動的に整理して料金を計算してテキストエディター(デフォルトではWindowsのメモ帳)に直接書き出してくれる。ログそのものはカンマ(,)区切りのCSV形式で記録されているので、ログを表計算ソフトに読ませて処理することができる。

さまざまな機能があって便利なダイヤルアップ・ウォッチャーだが、1つ惜しい点がある。導入時の初期設定が若干面倒なことだ。自分で設定ファイルをテキストエディターで編集し、指定のディレクトリーに自分でコピーしなくてはならない。これらの手順はヘルプファイルにわかりやすく解説されているが、やはり自動的にセットアップできるようにしてほしい。少々残念ではある。(石橋文健)

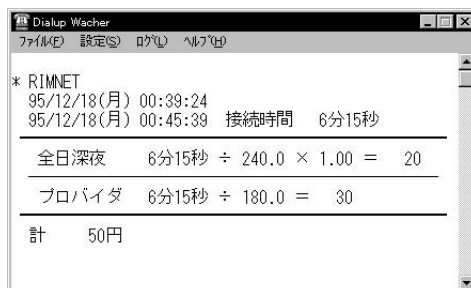


図1 実行中の画面。



図2 接続料金の設定画面。

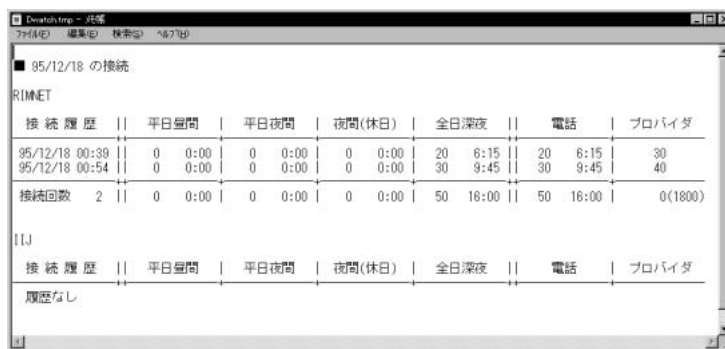


図3 「本日の接続」ログ画面。



図4 ダイヤルアップネットワークの接続名。

Dialup Watcher

バージョン : 1.07
種 別 : シェアウェア (1,000円)
作 者 : 三枝慎治
(shinji@shizuokanet.or.jp)
入 手 先 :
ftp://ftp.tohoku.ac.jp/pub/Windows/Winsoc
k/apps/dwatch/
関 連 情 報 : shinji@shizuokanet.or.jp
(サポートメールアドレス)

受け取ったメールのURLをクリックするとネットスケープが起動する

Internet Config [インターネット・コンフィグ]

インターネット
設定ツール
(マッキントッシュ)

インターネット関連のアプリケーションを利用するためには、それぞれのソフトが必要とする接続に関する情報やヘルパーアプリケーションなどを設定する必要がある。これらの設定は煩雑で、たとえばメールソフトを違うものに変えるような場合、メールアドレスやサーバーの設定など、同じ情報を何度も別々のアプリケーションで繰り返して設定しなければならない。「インターネット・コンフィグ (Internet Config)」は、このような煩雑さを解消するために開発されたものだ。アプリケーション側でインターネット・コンフィグに対応していれば、一度インターネット・コンフィグで行った設定からそのアプリケーションが必要とする部分を自動的に読み込んでくれるようになる。つまり、インターネット・コンフィグとその対応アプリケーションを利用すれば、今までのようにアプリケーションごとに同じ設定を何度も繰り返す

必要がない。対応アプリケーションは増えつつある(一覧を参照のこと)。ただ、この機能は複数で同じマシンを共有する人や、次々と違うアプリケーションに変えていくという人には便利かもしれないが、あまり一般向けというわけではない。それよりも、普通の人役に役立つとすばらしい機能がある。

同梱されている「ICeTEe」というファイル機能を拡張フォルダーに入れておくと、マックOS標準のテキストエディターなどで文字列の中にURLが出てきた場合、URLをコマンドクリックすれば登録されたアプリケーションが起動できるのだ。これは設定を一元化するという本来の目的に付加された拡張機能だが、実に使い勝手が良い。

たとえばオンラインソフトウェアを落としてきた際に、付属の「Read Me」ファイルをシンプルテキストで読んでいるとする。その中に説

明を作者がホームページで行っているとか、最新版はこのftpサイトで入手可能といったことが書かれていたとしよう。すでにインターネットと接続状態にあれば、URLをコマンドキーを押しながらクリックしてみる。するとインターネット・コンフィグの「ヘルパーアプリケーション設定」で決めてあるソフトウェア(たとえばネットスケープ)が自動的に起動する。ネットスケープがすでに起動している場合にはホームページにアクセスする。コマンドクリックしたURLがシンプルテキストからネットスケープに送られて、自動的にホームページが表示されたり、ftpを始めたりするというわけだ。試しにメールソフトの定番である「ユードラ (Eudora)」で試してみたところ、見事にネットスケープが立ち上がった。URL情報をメールでやりとりしている人は、受け取ったメールの中に書いてあるURLをコマンドキーを押しながらダブルクリックするだけで、そのURLのホームページを見ることができる。

この機能のためだけにインストールしてもよいだろう。本来は多くのアプリケーションの設定情報を一元化するという目的で開発されたものだが、最近はいろいろな使い方ができるように拡張されてきた。今後が楽しみである。

(岡井透)

対応アプリケーション
(1995年8月23日現在)

- ・ NewsWatcher 2.1.1
- ・ Register 1.1以降
- ・ NotifyMail 2.5以降
- ・ BlitzMail 2.0.2以降
- ・ MacGzip 0.2.2以降
- ・ FTPd 2.4.0以降
- ・ ICeTEe 1.1以降
- ・ Internet Config Access
- ・ Mpack 1.5以降
- ・ BBEdit 3.1.1以降
- ・ NewsHopper 1.1以降
- ・ Anarchie 1.5.0以降
- ・ NCSA Telnet 2.6.1d7以降
- ・ Black Night 0.1.4以降
- ・ DropURL 1.1以降
- ・ CyberFinder
- ・ Symantec Project Manager 8.0.3以降
- ・ Personal Log 2.0以降
- ・ WASTE テキスト編集エンジンを採用したアプリケーション
- ・ Claris E-mailer
- ・ Fetch 3.0
- ・ PowerMail
- ・ ICScriptor
- ・ Kapito
- ・ Style 1.3.2以降



図1 インターネット・コンフィグの起動画面



図2 受け取ったメールのURLをクリックすると、ネットスケープが自動的に立ち上がり、すぐにそのURLにアクセスする

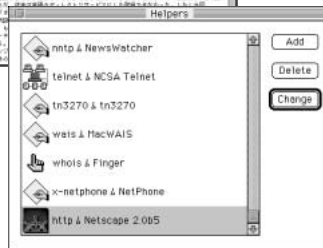


図3 「ヘルパーアプリケーション」にネットスケープを登録しておくことが必要

Internet Config

バージョン : 1.2
種別 : フリーウェア
作者 : Peter N. Lewis & Quinn
"The Eskimo!"

入手先 :

ftp://ftp.share.com/pub/internet-configuration/InternetConfig1.2.sit (binary file)
ftp://ftp.riken.go.jp/info-mac/comm/tcp/internet-config-12.hqx (BinHex file)
関連情報 :
http://coos.dartmouth.edu/emk/ic/index.html
ftp://ftp.ij.ad.jp/pub/info-mac/cmp/extension-to-type-3.hqx
mailto:internet-config@share.com
(サポートメールアドレス)



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp